

# FireSIGHT システムにおけるファンに関する問題のトラブルシューティング

## 内容

[概要](#)

[症状](#)

[確認手順](#)

[システムLEDおよびLCDパネル](#)

[音響ノイズレベル](#)

[RPMレベル](#)

[トラブルシュート](#)

[関連資料](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco FireSIGHT Management CenterおよびFirePOWERアプライアンスのファンに関する問題を調査するために実行できるさまざまなトラブルシューティング手順について説明します。

## 症状

ファンに問題があるFireSIGHTシステムでは、次のいずれかの動作が発生する場合があります。

- システムステータスLEDは赤色またはオレンジ色。
- FireSIGHTシステムをオンにすると、過剰なノイズが発生します。
- FireSIGHT Management Centerは、次のヘルスアラートを表示します。

```
Module Hardware Alarms: FAN1 fan speed is running high.
```

または、

```
Module Hardware Alarms: FAN2 fan speed is running low.
```

## 確認手順

### システムLEDおよびLCDパネル

- ファンがクリティカルまたは非クリティカルのしきい値を超えると、システムステータスが

オレンジ色に点灯します。

- シリーズ3 FirePOWERアプライアンスでは、LCDパネルのシステムステータスモードにファンステータスが表示されます。

注：電源装置(PSU)のファンに問題がある場合は、アプライアンスの背面を確認します。PSUのLEDが赤に点灯していることがあります。

## 音響ノイズレベル

FireSIGHTシステムのハードウェアモデルによって、ファンのノイズレベルは異なります。ファンから過剰なノイズが発生していると考える前に、使用しているハードウェアモデルの音響ノイズレベルを確認してください。デシベルメーターを使用して、アプライアンスの実際のノイズレベルを測定できます。

アプライアンスタイプ	ハードウェアモデル	音響ノイズレベル
FirePOWER アプライアンス	70xxシリーズ	53 dBA (アイドル時) 62 dBA (フルプロセッサ負荷)
	3D71xxシリーズ	64 dBA、フルプロセッサ負荷、通常のファン動作、G CORE 4.6の音響ノイズに対応
	81xxシリーズ	最大通常動作ノイズは87.6 dB LWAd (高温) 通常の動作ノイズは80 dB LWAdです。
	82xxおよび83xxシリーズ	最大通常動作ノイズは81.6 dB LWAd (高温) です。動作ノイズは81.4 dB LWAdです。
FireSIGHT 管理センター	DC750(Rev 1)	一般的なオフィスの周囲温度でのアイドル状態で7.0 dB (ラックマウント)
	DC750(Rev 2)	一般的なオフィスの周囲温度でのアイドル状態で7.0 dB (ラックマウント)
	DC1500	一般的なオフィスの周囲温度でのアイドル状態で7.0 dB (ラックマウント)
	DC3500	一般的なオフィスの周囲温度でのアイドル状態で7.0 dB (ラックマウント) 未満

## RPMレベル

いずれかのファンが動作を停止すると、シャーシ内の熱が制御されていることを確認するために、残りのファンはすべて100 % RPMで動作します。したがって、システムのノイズレベルが増加することがあります。アプライアンスの音響ノイズレベルが非常に高いと判断した場合は、次のコマンドを実行して、システムファンが正常に動作しているかどうかを判断します。

FireSIGHT Management Centerでは、

```
admin@FireSIGHT:~$ sudo ipmitool sdr list | grep -i fan
```

```
System Fan 1A | 7500 RPM | ok
System Fan 2A | 7100 RPM | ok
System Fan 3A | 7000 RPM | ok
System Fan 4A | 7200 RPM | ok
```

注：上の出力は一例です。RPMレベルは、使用しているハードウェアモデルによって異なる場合があります。各ファンのステータスがokと表示されていることに注意してください。

FirePOWERアプライアンスでは、

```
> show fan-status
```

```
-----[ Hardware Fan Status ]-----
```

```
CPU1 : Normal  
CPU1 : Normal  
Mem1 : Normal  
Mem2 : Normal  
Sys1 : Normal  
Sys2 : Normal
```

FirePOWERアプライアンスのexpertシェルでは、

```
> expert
```

```
admin@FirePOWER:~$ sudo ipmitool sdr list | grep -i fan
```

```
Processor 1 Fan | 5544 RPM | ok  
Processor 2 Fan | 5544 RPM | ok  
Memory Fan 2 | 4620 RPM | ok  
Memory Fan 1 | 4620 RPM | ok  
System Fan 1 | 5808 RPM | ok  
System Fan 2 | 4655 RPM | ok
```

## トラブルシュート

1.シスコのエンジニアリングチームがハードウェアレポートシステムのバグを発見した場合、パッチが開発され、最新リリースに含まれます。したがって、トラブルシューティングの手順として、FireSIGHTシステムのソフトウェアバージョンを最新のソフトウェアバージョンに更新してください。

2.問題が解決しない場合は、アプライアンスのコールドブートを実行します。コールドブートには次の手順が含まれます。

- センサーのグレースフルシャットダウンを実行しています。
- アプライアンスから電源ケーブルを外します。
- アプライアンスを電源から切断したままにして、少なくとも2分間待ちます。
- 2分後に電源を再接続し、通常どおりにアプライアンスを起動します。

アプライアンスの起動後、古いヘルスアラートは15分以内にクリアされます。

注：コールドブートを実行すると問題が解決する場合がありますが、履歴ログが削除されるため、根本原因の分析に役立ちます。

3.ファンのステータスに関する新しいヘルスアラートを受信した場合は、トラブルシューティングファイルを生成し、Cisco TACに送信して分析を依頼します。

## 関連資料

- [Sourcefire アプライアンストラブルシュート ファイル生成手順](#)

- [FireSIGHT システムの電源装置からのヘルス アラート](#)